

問

児童生徒が安全に通学できるよう、早急に自歩道を設置すべき

答

国の補助事業を活用し、計画的に整備していきたい



自歩道設置が望まれる町道12号線

自歩道の設置

問

町道12号線は、通学路や通勤路として利用されるため、朝夕はいつ事故が起きてもおかしくない状況だ。早急に自歩道を設置すべきだ。

町長 通学路と中心市街地までの道路の自歩道設置は、道路整備の主要施策と位置づけ、年次計画で整備を進めている。

現在は、中学校周辺の通学路650mの自歩道設置に着工しており、平成21年

度に完成予定だ。

今後は町道111号線の未整備部分、町道12号線の花宗川から荒牟田交差点までの1100mの自歩道設置を計画している。

町道12号線の危険な状況を踏まえたうえで、区画線の補修や危険箇所の一部改良など、早期着手も含めて検討していきたい。

自歩道整備事業には多額の費用が必要であるため、時間はかかるが、国庫補助事業を活用しながら計画的に進め、早期実現にむけて努力したい。

問

小中学校2学期制

教職員の意向や先進校の実績を把握し、義務教育の推進などを十分考慮したうえで2学期制を導入すべきだ。導入後は、デメリットが出てきても、なかなか3学期制に戻すことはできないだろう。考えを聞く。

教育長 各小学校と町に2

学期制検討委員会を設置し、教育課程の編成や指導計画の作成に取り組んでいる。

これらの作業や検討を進めていくことで、教職員の意識や気構えも十分高まりを見せてきている。

また、先進校の実績を把握するため、八女市、苅田町、古賀市、志免町への視察研修に職員を派遣した。

①年間20時間以上の授業時間を確保することができた。
②長いスパンで授業や子供たちの評価が行える。

③教育相談などの充実により、保護者との連携や子供たちの家庭教育に対する姿勢が随分変わってきたと、すばらしい結果を聞いてきた。

義務教育の改革を推進していくうえで、2学期制の導入は避けられないと思う。平成20年度に2学期制を試行するが、デメリットが出てきても、メリットに変えていく決意で努力していきたい。